

ひだご坊真宗教化センターだより

全飛研修会特別号

Shinran 500

〈愛読テーマ〉

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

発行日:2024(令和6)年10月23日 発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞

高山市鉄砲町6 TEL 0577-32-0776 web http://hidagobo.jp takayama@higashihonganji.or.jp

2024年度 飛騨御坊高山別院 報恩講厳修 11月1日(金)~3日(日)

高山別院報恩講 1日:音楽法要 2日:同朋唱和 3日:帰敬式 期間中:大根汁接待

第43回 真宗公開講座

今年も高山別院 飛騨御坊報恩講が11月1日から3日に厳修されます。

皆さま、お誘いあわせてご参拝ください。

真宗公開講座 1日午後 音楽法要後
筑前琵琶の演奏 2日午後2時 結願速夜後

御伝鈔の夕べ feat. 曾爾テラワキ氏・列座
2日(土) 午後6時半 今年は上巻を拝読



2024年度 11月1日(金), 2日(土), 3日(日)

| 月/日 | 時 | 会座 |
|------|-----|--------------------|
| 11/1 | 1時 | 初速夜 音楽法要 真宗公開講座 |
| | 7時 | 日中 結願速夜 |
| 11/2 | 1時 | 御伝鈔の夕べ 同朋唱和 |
| | 6時半 | 御伝鈔の夕べ 同朋唱和 |
| 11/3 | 7時 | 帰敬式 |
| | 1時 | 満中 |

主催会場/真宗大谷派 高山別院 お問い合わせ 0577-32-0688

御坊大根汁提供 各種パザー

御坊茶会11月1日 11時~15時

子ども作品展 10月19日~11月5日 表参式 11月4日(日) 祝日 11時

筑前琵琶演奏 田中旭泉氏 潘井旭神氏 琵琶演奏者

鍵役信僧院殿御参修 ひだご坊 報恩講

第43回 ひだ御坊 真宗公開講座

会場 高山別院 観講料 各回 500円

| | |
|--------------|---|
| 10/4 14:00~ | 報恩講のご和讃を学ぶ - 信心に開く世界 - 四衛 亮氏(本願寺) 三島大遊氏(真宗本願寺) 主催/高山1福真宗の会 |
| 11/1 14:00~ | 念仏の道場 佐賀枝立氏(高山別院) 主催/真宗公開講座 |
| 12/18 14:00~ | 「聞(もん)・問(もん)・開(かい)」という歩み 乾文雄氏(大谷中野 真宗本願寺) 主催/真宗公開講座 |
| 1/16 14:00~ | 妙好人の宿 - 詰所と問堂再建の歴史 - 太田浩史氏(高山別院) 主催/真宗公開講座 |
| 2/4 14:00~ | 道を求めて止まず - 私にとってのハンセン病問題 - 潘井義一氏(真宗本願寺) 主催/真宗公開講座 |
| 3/6 14:00~ | 三帰依文の願い 安藤 弥氏(明徳大学) 主催/明徳大学卒業生 |
| 4/7 14:00~ | 能登の真宗 - 「御崇敬」の歴史を通して - 大町慶華氏(真宗本願寺) 主催/高山1福真宗の会 |

ご回壇と報恩講 — 飛騨真宗の動脈と静脈



ご回壇

「御坊報恩講」は飛騨一円の門徒が集う出遇いの場であり、「ご回壇」は各寺各会所に別院が出向いて門徒と出遇う場です。

御坊を心臓に例えるならば、ご回壇は飛騨の門徒衆に広がる教化の動脈であり、さらに新しい共なる場〔世界〕を求めて門徒衆が集う静脈として御坊報恩講参詣があります。この動静脈教化は「信心回路」の具体的信心行為であります。

動脈・静脈による聞法の間(本山・別院と各会所)の交流により、飛騨一円の門徒の「共なる世界」「共なる場」が作られてまいりました。



ご坊報恩講

飛騨御坊とご回壇の歴史

約750年前、飛騨に最初に真宗を広められたのは、飛騨御坊・高山別院開基の「嘉念坊善俊上人」です。伊豆の三島で親鸞聖人に出遇い、本願念仏の教えに帰依され、聖人より「嘉念坊善俊」の法名を授与されました。その後、布教のため諸国を行脚され、飛騨白川郷に入り道場を構えられます。

ご回壇は、御坊開基・嘉念坊善俊上人の飛騨一円の布教行脚に始まると言われ、上人の教化活動は歴代住職・輪番に引き継がれてきました。



高山別院開基「嘉念坊善俊上人」

江戸時代、本山掛け所(別院)となって以降、輪番が、本願寺歴代御影並びに善俊上人御影を飛騨一円の各寺各会所に持参し、御代前にお掛けして法座を開く形がとられていきました。これが高山別院と各寺院門徒を直接つなぐ「ご回壇教化」の原型です。いわば出向く教化事業です。

高山別院が主体となり、輪番・使僧が直接ご門徒と出遇って、日ごろの本山並びに飛騨御坊への護持に対する御礼言上と、法座が開かれます。別院の崇敬全寺院(会所)を対象に行う最重要教化事業であり、飛騨御坊と寺院・門徒を直結する「絆」となっています。

江戸中期以降は、世情安定とともに、「年に一度のご回壇」として「ご回壇踊り」も行われるなど繁盛し、布教が続けられて今日に至っています。



御代前に奉戴された 教如上人像



御消息(総序の文) 拝読



輪番・使僧によるご法話

【ご回壇当日の流れ】

- 本堂向拝(正面)で御影をお迎えする(輪番・使僧⇒住職・総代)。
 - 御影(嘉念坊上人又は本願寺歴代)を内陣御代前に奉戴(ほうたい)する。
 - 勤行(正信偈・念仏和讃《三淘》)後、輪番(使僧)により御消息(総序の文)拝読。
 - 法話の前に「飛騨真宗門徒の信条」を唱和。導唱は、輪番(使僧)が行う。
 - 法話は、輪番(使僧)が行う。
- ※法話に先立ち、御影の説明、本山・別院へのお取り持ちの御礼。



ご回壇ポスター

—報恩講と大根汁—

■高山2組による報恩講奉仕 —「大根汁」接待

高山別院の報恩講といえば「大根汁」、と言われるように名物となっています。

高山2組門徒会では、11月1日から3日の高山別院報恩講の期間中、この「大根汁」の接待を行っています。2組は現在17カ寺で、1カ寺から3名ずつ出役し奉仕を行っています。

別院報恩講の大根汁接待は、2000年（平成12年）の報恩講から始められました。伝え聞くところでは、当時、高山1組の御門徒さん方が別院報恩講の準備や懇志の受付など手伝っておられ頑張っておられました。それで、2組でも「報恩講を盛り上げるために何かできないか」という話になり、「報恩講なら大根汁やぞ!」という声が出て始められたのだということです。

大根汁接待で使用される大根は、組内の農家の御門徒から寄附して頂いていたようですが、年によっては大根が不作なこともあり、あちらこちらにお願いして少しずつ分けていただくという、大変な年もあったとのこと。近年使用されている大根は、江名子・山口の御門徒の



農家で作られたものをご寄附いただいています。

大根を育てるということはなかなか大変です。お盆の頃、一番暑さが厳しい時期に種まきをします。水の管理も大変で病気になりやすい頃なので、大変苦勞をしていただいています。昨年も不作ということで、市場に行けば大根はありますが、できるだけ地元で育てられた大根を使うよう心がけています。

報恩講の前日、大根を洗い約1センチ角に切ります。大鍋を2つ用い、毎日、味がしみ込むよう前日からしっかり煮込んで、報恩講の3日間、参拝者に振舞われます。この間シフトを組んで、2組門徒会員全員で大根汁接待を行います。



■味は変わっても願いは一味

大根汁を作るのは大変なことです。最初は、大根の量やどの味噌をどれくらい使うのか、手探りでいろいろと苦勞をされたようです。毎年、要領や味付けの手法を記録はしていますが、役員の任期が3年ということもあり、結局、試行錯誤の繰り返しになってしまうのが今日の有り様です。

そんなことから、味についてはどうしても一定ではないのかもしれませんが、歴代の門徒会から門徒会へと、大根汁接待を大事にしていくことの願いは伝えられ受け継がれており、その受け継がれるものは間違いなく一味であります。ですから、別院報恩講での大切な行事であるとともに、高山2組としても伝えていきたい報恩講行事です。大根汁接待は、2組の中心行

事だと言っても過言ではないかと思えます。この大根汁の食文化を守り伝えることが、私たちのつとめだと思っています。

昨年は、大根汁のユニフォームとして、2組門徒会のエプロンを作りました。

■各寺院報恩講での大根汁

さて、各寺院において大根汁の作り方は様々でしょうが、私のお手継の寺である速入寺の場合を紹介いたします。

毎年報恩講の日には、15名の各班長さん自宅で調理がされます。その各家庭で調理された大根汁をバケツに入れてお寺に持ち寄り、大鍋で再度加熱します。（左写真参照）こ



のように、各家庭の味が混ざることによって、うまく調合されて程よい味となります。

長老によると、「この味を楽しみに報恩講にお参りするんやさ」という声をお聞きすることは、いかにも「大根汁」ならではの。

■今年も別院報恩講で一味の大根汁を

高山別院報恩講では、今年も大根300本、味噌15キロ、約1500杯分の大根汁を準備いたします。お参りをいただくとともに、高山2組お手製の“一味”の大根汁を味わっていただきたいと思っています。

「南無阿弥陀仏」とお念仏を称えた後の食は、お参りいただいたお一人お一人に得難いものとなるでしょう。

高山2組門徒会長
速入寺門徒 赤岩 優



『飛騨御坊真宗教化センターだより』10月号から転載。

高山別院報恩講への御奉仕 様々な団体からのご協力をいただき厳修されます



吉城組門徒会による御殿庭清掃

高山別院報恩講まであと一週間となりました。高山別院の報恩講は、毎年、様々な団体のご協力をいただき厳修されています。

紙面上となりますが、今年度も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

高山別院報恩講 ご協力団体

- 大谷婦人会高山支部・高山支部坊守会
- 別院華方・石浦華東会・八日町雅楽宮商会
- 玄興寺雅楽会・仏教讃歌をうたう会
- 高山地区真宗同朋の会・高山1組真宗の会
- 高山1組門徒会・高山2組門徒会
- 吉城組門徒会・益田組有志・御坊茶会有志の会
- 御朱印方・おあさじの会・飛騨仏教青年会
- 安川商店会・飛騨御坊真宗教化センター

※仏具磨きについては、今年度は「全飛騨組門徒会研修」で実施されます。



真宗同朋の会・1組門徒会・1組真宗の会による前日準備



益田組有志・おあさじの会・別院門徒によるお磨き



1組真宗の会による期間中の参拝者懇志受付

岐阜別院報恩講団体参拝

参拝日 12月10日(火) 結願速夜:法話/池田勇諦師

定員 30名 申し込み締め切り:11月22日(金) ※10名以下中止 参加費 ¥6,000- ※お申し込みは、高山教務支所(井野)まで。